

主要産地における令和2年産水稲の生育状況等について 第4報 (6月9日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和2年6月9日)

道府県	生育状況等		(参考)	
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等		技術・防除・気象等関連公表資料(自治体、気象台等公表資料の抜粋)
北海道	(生育)	<p>【生育状況(6月1日現在)】</p> <p>(全道) 移植作業は平年並に終了した。移植後の苗の活着は並。(北海道農政課 6月2日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 6月2日付)</p> <p>(渡島) 移植作業は平年並に行われたが、5月4、5半旬に移植したほ場では、低温日照不足の影響で活着に遅れを来している。(渡島総合振興局 6月2日付)</p> <p>(空知) 生育は平年並であり、移植作業も平年並に終了した。(空知総合振興局 6月2日付)</p> <p>(石狩) 遅速は「日早い」、低温、強風による葉の黄化や葉先枯れが見られる。(石狩振興局 6月2日付)</p> <p>(檜山) 生育は概ね平年並で推移、移植作業も概ね平年並で終了。(檜山振興局 6月2日付)</p> <p>(後志) 遅速は2日早い。(後志総合振興局 6月2日付)</p> <p>(日高) 移植後の低温・日照不足により、生育は遅れ気味である。(日高総合振興局 6月2日付)</p> <p>(上川) 生育は、平年並に推移している。(上川総合振興局 6月2日付)</p> <p>(留萌) 生育は平年並に進んでいる。(留萌振興局 6月2日付)</p> <p>(オホーツク) 移植作業は平年並に進んでいる。生育も平年並である。(オホーツク総合振興局 6月2日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日~7月5日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は、平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p>	<p>・主要品種に大きな変動はないものの、直播栽培に適した新品種「えみまる」が増加すると見込まれる。 (農林水産省 3月17日)</p> <p>(以下同じ)</p>
青森	(田植)	<p>・6月5日現在の田植進捗は、県全体で100%となった。 県全体の田植総わりは、平年より1日早い5月28日であった。 (青森県 6月8日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日~7月5日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「つがるロマン」「まっしぐら」の2品種で9割を占める品種構成で、近年収量水準の高い「まっしぐら」が増加傾向にあり、令和2年産も同様の傾向になるものと考えられる。</p>
岩手	(生育)	<p>【6月5日現在】</p> <p>・農業研究センター(北上)では、全品種とも草丈は平年よりやや短く、葉齢は平年を下回っている。 茎数は、「ひとめぼれ」は平年を上回り、「あきたこまち」、「銀河のしずく」は平年を下回っている。</p> <p>・県北農業研究所(軽米)では、草丈は平年よりやや長く、葉齢は平年並みで、茎数は平年を下回っている。 (岩手県 6月8日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日~7月5日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする構成となっている。 県では「ひとめぼれ」「あきたこまち」からオリジナル品種「銀河のしずく」に転換を図ることとしている。</p>
宮城	(生育)	<p>【6月1日現在】</p> <p>・草丈は、21.3cm(平年比87%)、1㎡当たりの茎数は89本(平年比77%)、葉数は4.9枚(平年差-0.6枚)となっている。 (県全体の平均)</p> <p>・5月中旬の一時的な低温により、生育は平年・前年に比べやや遅れている。 (宮城県 6月2日付)</p> <p>(栗原) 6月1日調査。葉数が平年を下回る調査ほが多いが、生育はいずれも順調。 (宮城県栗原農業改良普及センター 6月3日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日~7月5日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっており、「つや姫」が増加傾向となっている。「朝えみのり」「だて正夢」はやや増加傾向にある。</p>
秋田	(田植・生育)	<p>(由利) 5月25日現在、田植作業の進捗率は88.2%、直播播種作業の進捗率は100%。(6月1日付)</p> <p>(秋田) 田植作業は盛期をむかえた。直播の播種作業はほぼ終了した。(5月22日付)</p> <p>(北秋田) 田植作業は平年並に進み、(日保)では、播種までは低温の影響により芽出しが遅くなっている。(6月5日付)</p> <p>(仙北) 5月25日現在の管内の水稲移植作業進捗率は、進捗率70.0%(平年69.6%)。(5月29日付)</p> <p>(山本) 6月5日現在の管内の田植作業は99.9%が終了。(6月5日付)</p> <p>(雄勝) 田植作業の終期は5月31日。平年の6月1日より1日早い生育となっている。(6月5日付)</p> <p>(平鹿) 田植作業の終期(進捗率95%)は平年より1日早い5月30日。(6月5日付)</p> <p>(鹿角) 6月5日現在、田植作業の進捗率は99.5%(平年100.0%)。田植作業の盛期は5月23日(平年5月22日)であり、終期は5月30日(平年5月27日)。(6月9日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日~7月5日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成は大きな変化はないものの、「めいこいん」「ゆめおこし」等の多収性品種が増加傾向となり、一定のウエイトを占めてきた。</p>
山形	(生育)	<p>(鶴岡田川) 活着は概ね平年並であったが5月19日、20日頃の強風と低温、5月4半旬の日照不足により、一部で植え傷みが見られた。6月1日現在の生育は平年よりやや遅れ、分けつが進んでいない状況。 草丈は平年並み。茎数は平年より少なく、葉数は平年よりやや少ない(庄内総合支庁 6月3日付)。</p> <p>・「雪若丸」は順調に田植が行われ、良好なスタートを切る。6月1日現在の生育は、草丈、葉数が前年並み、茎数が前年より少ない状況。(山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進本部ほか 6月1日付)</p> <p>・平垣部「はえぬき」の6月1日現在の生育は、草丈は平年並み、茎数は平年よりやや少なく、葉数は平年並み。 (山形おいしき際立つ!米づくりプロジェクト本部 6月1日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日~7月5日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「はえぬき」「つや姫」「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。新品種「雪若丸」は増加傾向にある。</p>
福島	(田植)	<p>・移植栽培の播種作業は、始期(5%終了)が4月8日(平年差-1日)、盛期(50%終了)が4月16日(平年差±0日)、終期(95%終了)が4月25日(平年差±0日)で平年並。苗の生育は概ね順調で、病害の発生は平年並。 4月下旬より田植が始まっている。(福島県農林水産部農業振興課 5月8日現在)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日~7月5日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「コンヒカリ」「ひとめぼれ」を中心とする品種構成で、近年「天のつぶ」が増加傾向となっている。</p>
茨城	(生育)	<p>【水稲の生育状況(5月31日現在、水戸市)】</p> <p>(5月1日移植・対平年遅速) 「あきたこまち」1日早い、「ふくまる」2日遅い、「コンヒカリ」1日遅い。</p> <p>(5月11日移植・対平年遅速) 「コンヒカリ」1日遅い。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月2日付)</p> <p>【水稲の生育状況(5月27日現在、龍ヶ崎市)】</p> <p>(4月24日移植・対平年遅速) 「あきたこまち」1日遅い、「ふくまる」1日遅い、「コンヒカリ」3日遅い。</p> <p>(5月7日移植・対平年遅速) 「あきたこまち」3日遅い、「コンヒカリ」3日遅い。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月1日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日~7月5日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(関東甲信地方)】</p> <p>6月14日頃からかなりの高温。16日頃にかけては、かなり高くなる可能性がある。(気象庁 6月8日)</p>	<p>・「コンヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「ふくまる」がやや増加傾向にある。</p>
栃木	(生育)	<p>【6月25日本田における生育調査】</p> <p>(1) コンヒカリ ・草丈は25.1cm(平年比98%)、茎数は163.2本/㎡(平年比116%)と平年より多いが、現地調査ほ場では分けつが発生がみられないところがある。 ・葉齢は4.9葉で平年より0.3葉少なく、葉色は3.2で平年より0.5淡い。 ・葉色×茎数値は522で平年比99%となっているが、茎数確保が遅れている現地調査ほ場は300以下と生育量が少なくなっている。</p> <p>(2) とちぎの星 ・草丈は25.4cm(平年比98%)、茎数は173.2本/㎡(平年比98%)とほぼ平年並みとなっている。 ・葉齢は4.9葉で平年より0.5葉少なく、葉色は3.5で平年より0.5淡い。 ・葉色×茎数値は(606で平年比86%)で生育量が少なくなっている。 (栃木県 5月26日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日~7月5日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(関東甲信地方)】</p> <p>6月14日頃からかなりの高温。16日頃にかけては、かなり高くなる可能性がある。(気象庁 6月8日)</p>	<p>・「コンヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。なお、オリジナル品種「とちぎの星」がやや増加傾向にある。</p>

生育状況等			
干 葉	<p>【6月1日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月第4～5半旬の気温低下と日照不足の影響を受け、一時的に生育が停滞したが、その後回復傾向にある。 4月播きの「ふさおとめ」、「ふさこがね」、「コシヒカリ」の生育は平年並み、「むすけ」はやや遅れているが、いずれも中干しを始める時期に入っている。 <p>(千葉県 6月3日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日～7月5日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(関東甲信地方)】</p> <p>6月14日頃からかなりの高温。16日頃にかけては、かなり高くなる可能性がある。(気象庁 6月8日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「ふさこがね」「ふさおとめ」を中心とする品種構成であり、近年「ふさこがね」が増加傾向にある。
新 潟	<ul style="list-style-type: none"> 【6月1日現在の生育状況】水稲の生育は、平年に比べ全般的に進んでいる。コシヒカリでは、指標値(生育のめやす)に比べ、草丈は「長い」、茎数は「多い」、葉数の進みは「早い」状況で、生育が早まっている。新之助は、指標値に比べ、草丈と葉数の進みは「並」、茎数は「やや多い」状況。(新潟県 6月2日付) (三 条) 田植え以降は一部強風による傷みがあったが、活着は良好で草丈は長く、分けつは順調で茎数は並～やや多く、葉数の進みも早い。(三条農業普及指導センター 6月1日付) (長 岡) 葉数の進みは早く、分けつの発生は順調であるが、ほ場間差が大きい。(長岡農業普及指導センター 6月5日付) (南魚沼) 田植え後は高温傾向で、葉数は進んでおり、草丈は長くなっている。5月15日頃までに田植えされたほ場では、分けつの発生は順調。(南魚沼農業普及指導センター 6月2日付) (上 越) 生育は、5月10日頃までに植えられたほ場では良好となっている。5月20日以降に植えられたほ場では、初期生育がやや不良のほ場も見られ、ほ場間差が大きくなっている。(上越農業普及指導センター 6月1日付) (糸魚川) 5月上・中旬田植えのほ場は、好天により、生育は順調に進んでいる。(糸魚川地域振興局農林振興部 6月1日付) (佐 渡) 6月1日現在のコシヒカリの生育状況は、草丈、茎数、葉数とも目標値以上となっている。(佐渡農業普及指導センター 6月1日付) (新発田) 【新発田管内のコシヒカリ生育状況】田植え後は気温が概ね平年並みに推移し生育は順調。(新発田農業普及指導センター 6月2日付) (十日町) 管内の田植えは盛期が5月21日(平年並-2日)。田植え後の気温は平年並で活着も並。(十日町農業普及指導センターほか 6月1日付) (上越東) 【生育概況(平坦地のコシヒカリ 6/1現在)】田植え後の活着は並、田植え後の低温、日照不足の影響で分けつ発生は遅れ、葉数の進んだ苗が移植されたことから葉数(生育の進み)は指標値に比べ早くない。(上越東農林事務所 6月1日付) (新 潟) 【生育調査結果(6月1日調査)】(コシヒカリ、こしいぶき、新之助) 初期生育は順調。今後は高温が予想され、生育は早まる見通し。(新潟農業普及指導センター 6月1日付) (岩 船) コシヒカリを中心とした田植え盛期は5月12日頃。5月前半の気象は高温とやや低温の日があり、寒暖差が大きく、生育は平坦地では平年並。山間地など田植えが遅れたところでは、生育は遅れている。(村上農業普及指導センターほか 5月29日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日～7月5日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(北陸地方)】</p> <p>向こう10日間程度は気温は高く、かなり高くなる可能性がある。その後は、日本の南の高気圧が弱まるため、平年並の日が多くなる見込み。(気象庁新潟地方気象台 6月8日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少傾向にある。また、県では新品種「新之助」の作付拡大を推奨している。
富 山	<p>【本田での生育状況】</p> <p>(てんかくく)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平年に比べて、草丈は並、茎数はかなり多く、葉数はかなり進んでいる。 <p>(コシヒカリ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平年に比べて、草丈、葉数は並、茎数はやや少なくなっている。 <p>(てんこもり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平年に比べて、草丈、葉数は並、茎数はかなり多くなっている。 <p>(富富富)</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年に比べて、草丈は並み、茎数は少なく、葉数はやや遅れている。 <p>(富山県 6月2日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日～7月5日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(北陸地方)】</p> <p>向こう10日間程度は気温は高く、かなり高くなる可能性がある。その後は、日本の南の高気圧が弱まるため、平年並の日が多くなる見込み。(気象庁新潟地方気象台 6月8日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、高温多湿でも品質が安定している「てんこもり」「富富富」が増加傾向にある。
石 川	<p>【本田の生育】</p> <p>1. 草丈</p> <ul style="list-style-type: none"> コシヒカリは平年比82～131% (県平均105%；加賀：104%、能登：108%) と平年と比べやや長く前年並。 ゆめみづほは、平年比87～115% (県平均：101%、加賀：100%、能登：104%) と平年並で前年と比べやや短い。 ひやくまん穀は、近年比89～116% (県平均：98%、加賀：92%、能登105%) と近年並で前年と比べやや短い。 <p>2. 茎数</p> <ul style="list-style-type: none"> コシヒカリは平年比61～167% (県平均：110%、加賀：108%、能登114%) と平年と比べ多く、前年と比べ少ない。 ゆめみづほは、平年比80～155% (県平均：104%、加賀：108%、能登：94%) と平年並で前年と比べ少ない。 ひやくまん穀は、近年比99%～170% (県平均：94%、加賀：88%、能登：101%) と近年と比べやや少なく、前年と比べ少ない。 <p>(石川県農林総合研究センター 5月28日調査)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日～7月5日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(北陸地方)】</p> <p>向こう10日間程度は気温は高く、かなり高くなる可能性がある。その後は、日本の南の高気圧が弱まるため、平年並の日が多くなる見込み。(気象庁新潟地方気象台 6月8日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年県オリジナル新品種の「ひやくまん穀」が増加傾向にある。
福 井	<p>【6月4日調査】</p> <p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水稲の生育は草丈がやや長く、茎数はやや少なめに経過している。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月4日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日～7月5日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(北陸地方)】</p> <p>向こう10日間程度は気温は高く、かなり高くなる可能性がある。その後は、日本の南の高気圧が弱まるため、平年並の日が多くなる見込み。(気象庁新潟地方気象台 6月8日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「ハナエチゼン」を中心とする品種構成であるが、近年「コシヒカリ」が減少傾向にある。「あきさかり」が増加傾向にある。なお、新品種である「いちほまれ」も増加傾向にある。
長 野	<p>(育苗・田植)</p> <ul style="list-style-type: none"> 育苗は、5月上旬から気温が高く推移したことから、一部で高温によるヤケが発生したものの、全般に大きな問題はなかった。 田植えは5月10日から開始。最盛期は5月24日頃と推測され、平年より3日、前年より1日早い状況 <p>(北信農業農村支援センター 5月25日)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日～7月5日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(関東甲信地方)】</p> <p>6月14日頃からの高温。16日頃にかけては、かなり高くなる可能性がある。(気象庁 6月8日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種として「風さやか」の導入を推奨している。
滋 賀	<p>(生育)</p> <p>【6月4日調査】</p> <p>水稲の生育は草丈がやや長く、茎数はやや少なめに経過している。</p> <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月4日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日～7月5日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(近畿地方)】</p> <p>向こう10日間程度は気温は高く、かなり高くなる日も多い見込み。(気象庁大阪管区気象台 6月8日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「キヌヒカリ」「日本晴」を中心とする品種構成であるが、近年「コシヒカリ」「キヌヒカリ」が減少傾向となっている。高温多湿性に優れた「みずがみ」を増加する計画である。
兵 庫	<p>(育苗・生育)</p> <p>(県北) 移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>(県南) 苗の生育は順調である。</p> <p>(兵庫県 6月4日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日～7月5日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(近畿地方)】</p> <p>向こう10日間程度は気温は高く、かなり高くなる日も多い見込み。(気象庁大阪管区気象台 6月8日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」「山田錦」を中心とする品種構成である。「きめむすめ」の作付推進を図っている。

生育状況等			
岡山	<p>・中北部地帯の田植え時期、生育概況は概ね平年並である。 (生育) (岡山県 5月28日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日～7月5日】 中国地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(中国地方)】 今後10日間程度は気温が高く、かなり高くなる可能性がある。 (気象庁広島地方気象台 6月8日)</p>	<p>・「アケボノ」「ヒノヒカリ」「あきたこまち」「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。近年「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</p>
広島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日～7月5日】 中国地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(中国地方)】 今後10日間程度は気温が高く、かなり高くなる可能性がある。 (気象庁広島地方気象台 6月8日)</p>	<p>・「あきさかり」が増加傾向にある。</p>
愛媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日～7月5日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(四国地方)】 向こう10日間程度は、気温は高く、かなり高くなる可能性がある。 (気象庁高松地方気象台 6月8日)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</p>
高知	<p>【5月29日時点の生育状況】 ・5月18日までは全体的に茎数が少なめだったが、現在は、4月14日植えコシヒカリを除き、平年並以上に増加し、問題なく生育している。</p> <p>【南国そだち】(4月6日播・稚苗) 草丈と葉齢は平年並、平年に比べ茎数が多く推移している。 【よき恋人】(4月6日播・稚苗) 前年に比べ、草丈がやや低いものの、茎数が多く、葉齢は前年とほぼ同様に推移している。 【コシヒカリ】(4月6日播・稚苗) 平年に比べ、草丈はやや低いものの、茎数が多く、葉齢は平年並みで推移している。 【コシヒカリ】(4月14日播・稚苗) 平年に比べ、草丈がやや低く、茎数は少なく、葉齢はやや遅れている。 (高知県農業技術センター 6月4日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日～7月5日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(四国地方)】 向こう10日間程度は、気温は高く、かなり高くなる可能性がある。 (気象庁高松地方気象台 6月8日)</p>	<p>・早期栽培では「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成であるが、近年、高温多湿性に優れた「よき恋人」が増加傾向にある。「南国そだち」は減少傾向。</p> <p>・普通栽培では「にこまる」が増加傾向にある。</p>
福岡	<p>【6月1日現在】 (1) 早生水稲(夢つくし、ヒノヒカリ) 田植え後、高温で経過したため生育は順調。暖冬の影響で、一部地域ではスクミンゴガイによる被害が発生している。 4月下旬は、田植え後40日頃に有効茎数が確保され、6月5日頃に中干し開始時期となる見込み。</p> <p>(2) 普通期水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど) 田植えは、出るく地では5月中旬から、夏の作付けがない平地では5月下旬から開始。好天で経過したため、苗質は良く、田植え後の活着も良好。平地地の田植えは、「夢つくし」が6月上旬、「元気つくし」が6月中旬、「ヒノヒカリ」が6月下旬、「実りつくし」が6月中旬にピークとなる見込み。 (福岡県農林業総合試験場 6月1日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日～7月5日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(九州北部地方)】 今後2週間程度も気温は高い日が多く、かなり高くなる可能性がある。 (気象庁福岡管区気象台 6月8日)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」が減少傾向、「夢つくし」「元気つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今後、新品種「実りつくし」の拡大を推奨している。</p>
熊本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日～7月5日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(九州北部地方)】 今後2週間程度も気温は高い日が多く、かなり高くなる可能性がある。 (気象庁福岡管区気象台 6月8日)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「森のくまきん」「コシヒカリ」を中心とする品種構成に、大きな変化はない。</p>
宮崎	<p>【作物の生育状況(5月中旬)】 ・早期水稲は分けつ期(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月22日)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日～7月5日】 九州南部地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(九州南部地方)】 向こう2週間の気温は高い日が多く、11日頃からはかなり高くなる可能性がある。 (気象庁鹿児島地方気象台 6月8日)</p>	<p>・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「み系358」への作付誘導が進められている。</p>
鹿児島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月6日～7月5日】 九州南部地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報(九州南部地方)】 向こう2週間の気温は高い日が多く、11日頃からはかなり高くなる可能性がある。 (気象庁鹿児島地方気象台 6月8日)</p>	<p>・「なつほのか」及び「あきほなみ」が増加傾向である。</p>

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：令和2年6月9日15時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で示した。

参考・引用資料:

農作物の生育状況 6月1日現在(北海道 6月2日)、
農作物生育状況 6月1日現在(北海道空知総合振興局 6月2日)、
農作物生育状況 6月1日現在(北海道石狩振興局 6月2日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道後志総合振興局 6月2日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道胆振総合振興局 6月2日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道日高振興局 6月2日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道渡島総合振興局 6月2日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道檜山振興局 6月2日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道上川総合振興局 6月2日)、
農作物生育状況調査の概要 6月1日現在(北海道留萌振興局 6月2日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月2日)、
6月5日現在田植え進捗状況(青森県 5月26日)、
令和2年度水稲生育定期調査結果No.1(6月5日現在)(岩手県農業研究センター 6月8日)、
令和2年度水稲の生育状況について(6月1日現在)(宮城県農政部みやぎ米推進課 6月2日)、
栗原の稲作通信(令和2年第1号)(栗原農業改良普及センター 6月8日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月9日)、
おいしい米づくり情報第6号(庄内総合支庁 6月3日)、
つや姫だより第2号(庄内総合支庁農業技術普及課 5月20日)、
雪若丸技術情報No.3(山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進本部ほか 6月1日)、
米づくり技術情報No.4(山形おいしさ際立！米づくりプロジェクト本部 6月1日)、
稲作だより第5号本田初期水管理編(最上総合支庁農業技術普及課 5月19日)、
主要な農作物の生育情報令和2年度第2号(福島県農林水産部 5月8日現在)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月2日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月1日)、
令和2(2020)年度水稲生育診断予測事業速報No.1(栃木県 5月26日)、
水稲の生育と当面の対策第2報(千葉県 6月3日)、
FAX稲作情報No.4(三条農業普及指導センター 6月1日)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報No.1(6月1日調査)(南魚沼農業普及指導センター 6月2日)、
コシヒカリ・こしいぶき生育速報(6月1日)(上越農業普及指導センター)、
令和2年度糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報No.1(糸魚川地域振興局 6月1日)、
令和2年度稲作生育速報No.1(佐渡農業普及指導センター 6月1日)、
令和2年度新発田地域水稲生育速報No.1(柴田農業普及センター 6月2日)、
十日町地域稲作生育速報(十日町農業普及指導センターほか 6月1日)、
上越地域米水稲生育速報(6月1日調査)(上越東農林事務所 6月1日)、
稲作速報No.1(新潟農業普及指導センター 6月1日)、
岩船米づくり情報No.3(岩船農業普及指導センターほか 5月29日)、
TACS情報第2号(富山県 6月2日)、
令和2年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-2号)(石川県農林総合研究センター 5月28日調査)、
稲作情報No.6(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月4日)、
農作物生育概況(北信農業農村支援センター 5月25日)、
令和2年度兵庫県農業気象技術情報No.2(6月情報)(兵庫県 6月4日)、
令和2年度病害虫発生予報第3号(岡山県病害虫防除所 5月28日)、
令和2年度における早期水稲の生育状況(5月29日時点)(高知県農業技術センター 6月4日)、
福岡県の主な農産物の生産情報(福岡県 6月1日現在)、
令和2年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月22日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月4日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月4日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月4日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月4日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月4日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月4日広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月4日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月4日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月4日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(5月25日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(5月25日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(5月25日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(5月25日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(5月25日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(5月25日広島地方気象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(5月25日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(5月25日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(5月25日鹿児島地方気象台)、

早期天候情報(6月8日気象庁)

令和2年度水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月17日)